

5月の第2日曜日は母の日です。いつも支えていただいているお母さん、ご家族へ大地班で心を込めて育てたお花を使い寄せ植えを準備しました。花選びから飾り付けまでお母さんの喜ぶ顔を想像しながら準備しました。いつもありがとうございますの感謝の気持ちが届きますように。



古新聞紙 ご提供のお願い

たまんでは、生産活動の一環として、利用者さんが新聞紙をきれいに整え、紐で束ねたものを販売しております。

最近、多くのお客様にご購入いただいております、新聞紙の在庫が少なくなってきました。

ご家庭で読み終わった新聞紙がありましたら、たまんまでお持ち寄りいただけますと幸いです。

なお、販売による売上は、利用者の皆様の工賃として還元させていただきます。

皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアありがとうございます! 喜屋武 竜匡さん、中村 伝さん

たまん家族会が開催されました



令和8年度役員 会長：金城宏美 副会長：角田藤香 会計：長嶺理恵子 監査：佐久間千恵子、金城恵

①R7年度収支報告、監査報告 ②R7年度事業報告 ③R8年度事業計画案 ④今年度役員について以上の報告がありました。報告後、意見交換が交わされ有意義な時間となりました。

前年度は、保護者会忘年会、久しぶりにピクニックもありと保護者、利用者、職員と交流をもつ事が出来た事がよかったというご意見がありました

総会終了後は、R7年度の行事、余暇活動の様子をDVDにおさめたものを観覧し昼食をいただきました。たまん職員も多数参加し賑やかな時間を過ごす事が出来ました。



6月の予定

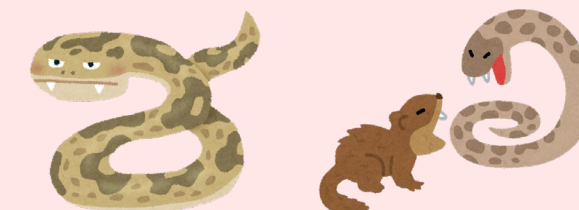
- 6月3日(水) リーダー会議・職務会議
- 6月9日(火) 理事会
- 6月13日(土) 余暇活動
- 6月17日(水) 施設内研修会
- 6月21日(日) 父の日
- 6月23日(火) 慰霊の日
- 6月26日(金) 評議委員会
- 6月27日(土) Tボール大会
- 6月29日(月) 感染対策委員会

ハブに注意!!!

今年もハブの活動時期(5月~6月)になりました。特に「たまん」周辺は畑や草地が多いのでハブにとって、格好の生息地となります。歩行の際、もしくは夜間、出歩く際は細心の注意を払いましょう。

※ハブに噛まれたら※

- 激しい動きをせずに速やかに助けを求めましょう。
- 応急処置として吸引機などで傷口から毒を繰り返し吸い出しましょう。
- 早急に医療機関で治療を受けましょう。



家族会 & 【余暇活動】映画鑑賞



令和8年4月25日（土）家族総会&余暇活動（映画鑑賞）を行いました。保護者さんは家族総会参加その間利用者さん達は本来天気が良ければグランドゴルフの予定でしたが残念☹️な事に雨天の為急遽ココイク交流スペースを借りて映画鑑賞になりました。

しかし、映画鑑賞も好評で静かに集中しながら時には笑い声や歓声等も聞こえ大盛況に終える事が出来ました。その後たまん食堂に移動し保護者の方と合流しお楽しみの食事タイム😊楽しく充実した1日を過ごす事が出来ました。保護者の皆さんもお疲れ様でした。

就労選択支援の実施について

就労選択支援のしくみ



選ぶための支援

ご本人の希望を大切にしながら、自分に合った働き方や次の進路を一緒に考えます。



面談・作業体験

面談や作業体験を通して、得意なこと、適切な環境、安心して取り組めるように必要な配慮などを整理していきます。



多機関連携

ご家族、学校、相談支援事業所、関係機関などと連携しながら、次の支援や進路につながる形を一緒に見つけていきます。



たまん福祉会の強み

たまん福祉会は、法人内の就労支援をはじめ、各事業と連携することで、進路選択後の先まで見据えながら、支援できることが強みです。

全国では令和7年10月から始まった就労選択支援事業ですが、たまんでは令和8年7月1日から事業を開始する予定です。就労選択支援は、就労移行支援や就労継続支援A・B型と同じ「通所型」の就労支援の一つで、いわば“第4の就労支援”と位置づけられるサービスです。特徴は、利用者本人にとって最適な働き方や進路を見つけるための「適職診断」を行う点にあります。基本は1か月間の訓練を通して適性を評価しますが、必ずしも選択支援事業所で訓練する必要はなく、本人が希望するB型事業所などでアセスメントを行うことも可能です。選択支援員の役割は、進路のナビゲーターとして①適性評価、②訓練の実施、③結果共有と進路調整を行うことです。B型や移行支援の支援員が日常的な活動支援を担い、相談支援専門員が生活全体を整えるのに対し、選択支援員は「進路を見つける専門家」として中立的な立場で評価を行います。本人の希望を尊重しながら、より良い進路選択を支えることが最大の役割です。

令和8年度 自治会選挙！



令和8年4月16日（木）に自治会選挙を行いました。6名の立候補者から1名を選び投票していただきました。顔写真付きのポスターを真剣に見ながら誰にしようか迷っている方、投票したい方が予め決まっている方など、利用者さんによって、様々でした。投票後は、職員が集計し、後日、朝礼で発表しました。投票結果については会長に福浦 征さん、副会長に山城 直枝さん、庶務に鉢嶺 さん、我如古 智恵美さんが今年度の自治会役員に決定しました。

止まれマークと来客用駐車場の設置



就労支援センターたまんの正門前には、農道を挟んで自動販売機があり、利用者の皆さんにとって、お昼時間にジュースを買いに行くことが楽しみのひとつとなっています。

農道は車の往来が少ない場所ですが、より安全に横断できるよう、横断前に立ち止まって左右を確認するための「とまれ」の文字を、作成しました。

作成では、デザイナーの職員の意見を取り入れながら、ダンボールで型紙を作り、黄色のペンキで文字を塗りました。利用者の狩俣 成希さんと金城 優樹さんも一緒に参加し、楽しみながら主体的に取り組む姿が見られました。

トライアル雇用がスタートします！



トライ班の鈴木南々海さんが、今月5月7日より「南山病院」でのトライアル雇用が決まりました。トライアル雇用とは、3ヶ月間の試行雇用であり、適性や能力を見極め、期間の定めのない雇用への移行のきっかけを目的とした制度です。南山病院での業務は院内の清掃(モップ掛け・ほうき)や患者様のシーツ交換業務です。トライアル雇用の面接においては「たまん頑張ってきた清掃を南山病院でも頑張りたい」と述べており、職場実習でも高い評価を受けた南々海さんは、とてもやる気に満ち溢れておりました。より一層お仕事に期待が出来ることでしょうか！本人と企業がうまくマッチングできるよう、たまんも全力でバックアップして参ります。